

令和6年度 北海道中学校体育大会 ハンドボール大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の17時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【ハンドボール大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・空調設備のある会場を使用し、会場とも連携を図りながら温度調整を行っていく。
- ・各チームに事前に熱中症予防の観点から必要なものを準備しておくよう呼びかける。

熱中症指数（WBGT）が試合開始時に25℃を超えている場合

- ・前後半各1回ずつ、1分間の「給水タイム」を設定する
- ・会場内に、こまめに水分補給を行うようアナウンスする

熱中症指数（WBGT）が31℃を超えた場合

- ・試合を中断し、下がるのを待つ
- ・試合が長時間中断となる場合は
 - ① 試合時間または試合日程の繰り下げで実施可能であれば全試合実施
 - ② ①が実施できない場合で、試合数を減らして実施できる場合は、各地区の1位のチームで試合を行う。その際、実施可能な試合数に応じて、トーナメントかリーグかを検討（臨時専門委員会開催）する。組合せは抽選による。
 - ③ ②が実施できない場合は、各地区1位のチームの中で全国大会への参加を希望するチームによる抽選で代表チームを決定する。

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

- ・熱中症特別警戒アラートが発令された場合など、競技が進行できない場合は、上記「熱中症指数が31℃を超えた場合」の「試合が長時間中断となる場合」と同様の対処とする。

- ① 試合時間または試合日程の繰り下げで実施可能であれば全試合実施
- ② ①が実施できない場合で、試合数を減らして実施できる場合は、各地区の1位のチームで試合を行う。（実施可能な試合数に応じて、トーナメントかリーグかを検討（臨時専門委員会開催）。組合せは抽選による。
- ③ ②が実施できない場合は、各地区1位のチームの中で全国大会への参加を希望するチームによる抽選で代表チームを決定する。